

予算と事業の概要

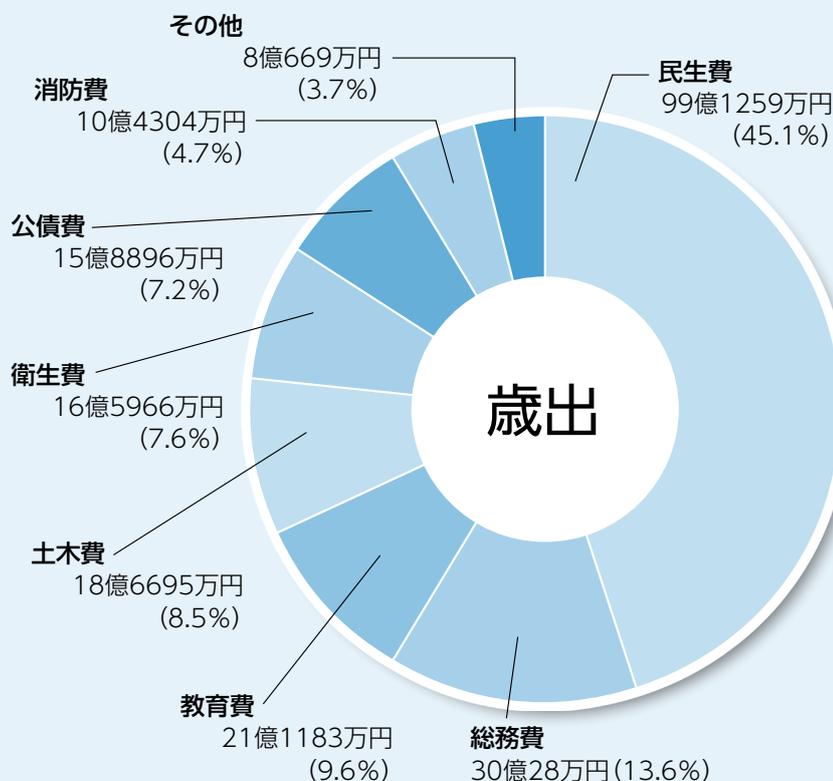
一般会計の総額は219億9000万円。前年度から10億8000万円の増額(5.2%の増率)となり、予算規模は過去最大となりました。

歳入については、歳入の根幹である市税をはじめ、国県支出金や地方交付税などが、前年度と比べて増額となっています。

歳出については、鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想等策定事業や鶴ヶ丘児童公園整備事業などの新規事業を計上したほか、妊娠・出産・育児支援事業、健康長寿推進事業、公園管理事業に要する経費などを増額しました。

会計

9000万円



用語解説

民生費

子ども、高齢者、障害者などの福祉全般の事務・事業に使うお金

総務費

住民窓口、課税徴収、ICTなど市の総括的な事務に使うお金

教育費

学校運営の費用、生涯学習、スポーツなど教育全般の事務・事業に使うお金

土木費

道路、公園整備などに使うお金

衛生費

保健衛生、公害対策など安全で衛生的な生活のために使うお金

公債費

市債(市が借り入れたお金)を返済するために使うお金

消防費

消防や災害対策に使うお金

全体の予算規模

会計名	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	比較増減		
			増減額	増減率	
一般会計	219億9000万円	209億1000万円	10億8000万円	5.2%	
特別会計	国民健康保険	66億9105万円	64億1803万円	2億7302万円	4.3%
	後期高齢者医療	10億1100万円	8億7491万円	1億3609万円	15.6%
	介護保険	45億9790万円	44億1万円	1億9789万円	4.5%
	一本松土地区画整理事業	1億2560万円	1億6854万円	△4294万円	△25.5%
	若葉駅西口土地区画整理事業	3億1420万円	3億8803万円	△7383万円	△19.0%
	合計	127億3976万円	122億4952万円	4億9024万円	4.0%
全会計合計	347億2976万円	331億5952万円	15億7024万円	4.7%	

※ 特別会計とは、特定の歳入・歳出をもって一般会計とは経理を別にする会計です

※ 各予算額は、表示単位未満で四捨五入をしているため、各項目の積み上げと合計が一致しない場合があります

鶴ヶ島市の予算

令和4年度の予算が決定しました。

予算の概要と、各分野の主な事業について紹介します。

問合せ先 財政課財政担当

一般

219億

用語解説

市税

市民税、固定資産税などの税収入

国県支出金

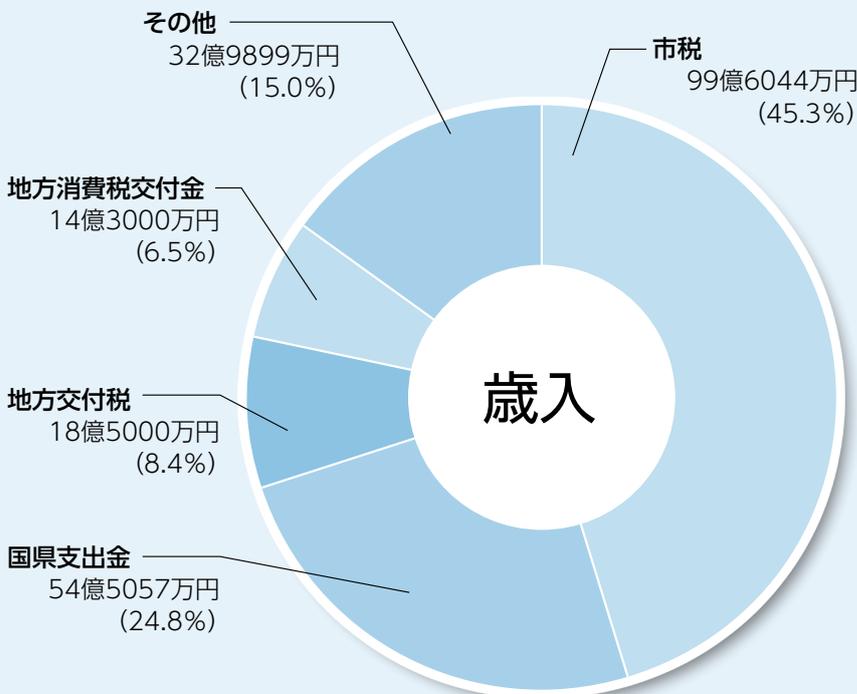
特定の事業のために国・県から支出されるお金

地方交付税

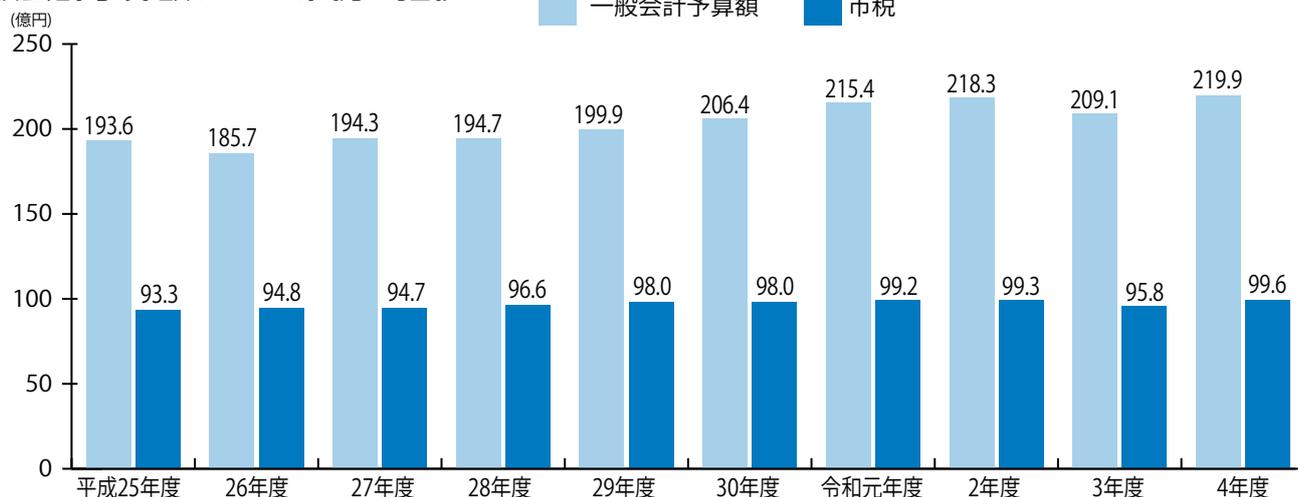
市の財政状況に応じて国から交付されるお金

地方消費税交付金

県の地方消費税収入の中から市に対して交付されるお金



一般会計予算額および市税の推移



「第6次鶴ヶ島市総合計画」に掲げた市の将来像である『しあわせ共感 安心のまち つるがしま』の実現に向けて、当初予算に計上した主要な事業を、特に注力する3つの重点戦略ごとに紹介します。また、まちづくりの新たな拠点として憩い・にぎわい・交流の創出を目指す「(仮称)Nゲージとガーデンパーク」の整備についても併せて紹介します。

重点戦略 3 多様な働き方が実現できる まちづくり



市内進出事業者等支援事業 405万円
市内空き店舗を活用して、新規出店する起業・創業者や、新型コロナウイルス対策などにより、事業所などを他自治体から市内に移転する事業者に対して、店舗改修および家賃の一部を補助することで、市内空き店舗の有効活用や地域活性化を目指します。

男女共同参画普及啓発事業 49万円
女性の起業や再就職の支援、ワーク・ライフ・バランスの推進など、就労環境を改善して、女性の活躍を推進します。令和4年度は、コロナ禍における離職者を支援するため、就職の支援や在宅ワークの基礎に関する講座などを実施します。

藤金地区地区計画住環境整備事業 825万円
藤金地区地区計画区域について、地区計画に定めた道路や広場を計画的に整備することにより、当該地区の住環境の充実を図ります。令和4年度は、道路や広場を整備するための測量業務を実施します。

新 都市計画道路整備事業 4529万円
都市計画道路共栄鶴ヶ丘線は、鶴ヶ島駅西部と若葉駅西部に広がる市街地を結び、地域間交通を確保する上で重要な幹線道路です。令和4年度は、市道547-1号線から市道229号線の区間において、路線・用地測量および予備設計業務を実施します。

新たな交流拠点 (仮称)Nゲージとガーデンパークの整備



(仮称) Nゲージとガーデンパーク 完成イメージ図

(仮称)Nゲージとガーデンパークの整備
ふるさと納税のパートナー企業として連携を深めてきた株式会社関水金属との官民連携事業として、同社の工場敷地内の緑地と鶴ヶ丘児童公園の一体的な再整備を行います。工事は令和4年度から5年度の2か年で行い、令和6年度中に「(仮称)Nゲージとガーデンパーク」としてリニューアルオープンを目指します。

※ Nゲージとは、レールの幅が9mmの小型の鉄道模型をいいます

新 鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想等策定事業 1210万円
鶴ヶ丘児童公園の再整備を核としたまちづくりを進めるため、地域住民や関係団体の意見を踏まえたまちづくり構想を策定し、(仮称)Nゲージとガーデンパーク構想の実現を目指します。

新 鶴ヶ丘児童公園整備事業 730万円
鶴ヶ丘児童公園に隣接する株式会社関水金属の新工場建設にあわせ、工場敷地内の緑地と一体化させた公園の再整備を行います。



関水金属所有の機関車

「子ども・子育て関連新型コロナウイルス感染症対策事業」 2835万円 / 「新型コロナウイルス感染症対策緊急特別融資事業」 2130万円 / 「災害対策事業」 5735万円 / 「道路交通環境安全対策事業」 4688万円 / 「行政システム活用推進事業」 3億4712万円 など

主 要 事 業 の 紹 介

重点戦略 1 子どもにやさしいまちづくり



妊娠・出産・育児支援事業 5557万円
市民が安心して妊娠、出産、育児ができるよう、母子の健康の保持および増進を図ります。新たに、産後うつ予防や新生児への虐待予防のため、出産後間もない時期(産後1か月)に受ける産婦健康診査の費用を助成します。

乳幼児健康診査事業 1002万円
母子保健法に基づき、身体の発育途上にある乳幼児に健康診査を実施し、母子の健康の保持および増進を図ります。新たに、3歳児健康診査において、弱視の原因とされる遠視などの目の異常を早期に発見するため、屈折検査機器を用いた検査を開始します。

新 学童保育室建設事業(新町小学校区) 7834万円
新町小学校敷地内の増築校舎を改修整備し、学童保育室として活用することで、放課後における児童の健全な育成の推進と、学童保育室の運営規模の適正化を図ります。

新 小・中学校鶴ヶ島サマースクール×大学生WIN-WIN事業 500万円
夏季休業期間中、希望する児童・生徒に、自主的に学習できる機会を設け、学習意欲の向上と家庭学習の習慣化を図ります。また、将来の職業選択に役立つ経験となるよう、教職を目指す大学生などを学習指導補助員として採用し、児童・生徒と大学生双方の成長を促します。

重点戦略 2 いつまでも健康でいられるまちづくり



健康長寿推進事業 1452万円
ウォーキングやラジオ体操の普及拡大、食育の推進とともに、高齢者の保健事業と介護予防・フレイル対策を一体的に推進し、健康寿命の延伸を図ります。また、高齢者の健康づくりにデジタルを活用することにより、デジタルデバイド(情報格差)の解消と社会的なつながりや世代間交流の創出を図ります。

公園管理事業 1億9322万円
公園の維持管理を安全・適切に行います。また、運動公園や南近隣公園などの公園施設の改修を実施し、市民が快適に利用できる環境を整備します。

市内公共交通運行事業 1億423万円
高齢者、障害者、交通手段を持たない方など、いわゆる交通弱者の市内の移動手段であり、通勤や通学、買い物などにも利用できる「つるバス・つるワゴン」の運行を確保します。令和4年度は、利便性の向上を図るため、ルート・ダイヤの一部見直し業務を実施するほか、新たにバスロケーションシステムを導入します。

新 鶴ヶ島グリーンパーク整備事業 6728万円
鶴ヶ島グリーンパーク多目的広場1の防球設備を整備し、スポーツ・レクリエーション活動やコミュニティ活動などを、安心・安全に実施できる環境の確保を図ります。

その他の主な事業

「新型コロナウイルス感染症への対応に係る事業」(「感染症予防対策事業」 2億593万円 / 「新型コロナウイルスワクチン接種事業」 2億4749万円 / 「新型コロナウイルス感染症生活困窮者支援事業」 831万円 /